



県道会津坂下・会津高田線 管路DB整備事業建設工事

～管路DBについて～

管路DB整備事業について

- 管路DB整備事業の『DB』とは



Design Build 【デザイン・ビルド】の略称

つまり、

設計と工事を一括して発注する方式

県道会津坂下会津高田線 における

上下水道整備の課題

◆上水道

- 給水開始初期(大正時代)に整備した水道管を使用しており、老朽管更新の実施方法・時期を模索

◆下水道

- 町中心部かつ商店街であるため、工事期間を短縮できる施工方法を模索



限りある財源の中で速やかな事業実施が必要

管路DB方式導入に至る経緯

- ◆ 国土交通省による様々な整備手法を検討するモデルケースに採択される
 - 上下水道工事の同時施工手法を探る



- ◆ 管路DB方式の導入可能性を検証
 - 上下水道の設計と工事を一括で行うことが可能
 - 費用対効果においても有効性を確認

全体事業費の縮減・工期短縮が可能

管路DB方式導入による効果

- 上水道と下水道が連携することで、より効率的な設計・施工の一元化が期待できる
- 民間事業者の創意工夫や特性を活かした効果的な事業の実施が可能



- 上水道と下水道の2つの工事を同時に行うことによる効率的な施工と工期短縮
【工期を約30%短縮】
- 発注規模拡大・複数年契約によるコスト削減。
【費用を約15%縮減】

会津坂下町管路DB整備事業の経過

令和元年		国土交通省のモデルケースに採択され導入検討に着手
令和3年	3月	設計者・施工者に向け事業説明会を実施
令和4年	8月	実施方針の策定（町ホームページにて公表）
	9月	実施の公告・募集要領を公表
	11月	応募者によるプレゼンテーション及びヒアリングの実施
	12月	優先交渉権者と「基本協定」の締結
令和5年	1月	業務委託契約の締結
令和6年	3月	工事請負契約の締結